



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社 松風 上場取引所 東  
 コード番号 7979 URL <https://www.shofu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高見 哲夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 浅田 和俊 TEL 075-561-1112  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月4日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	39,994	3.3	5,226	△3.1	5,859	6.1	4,887	13.2
2025年3月期	38,698	10.3	5,392	14.5	5,523	7.9	4,317	18.1

(注) 包括利益 2026年3月期 7,744百万円(213.3%) 2025年3月期 2,471百万円(△65.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	137.38	136.97	10.7	10.9	13.1
2025年3月期	121.52	121.09	10.3	11.0	13.9

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 △3百万円 2025年3月期 △7百万円

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	57,706	48,689	84.1	1,363.94
2025年3月期	49,994	42,736	85.2	1,198.37

(参考) 自己資本 2026年3月期 48,541百万円 2025年3月期 42,596百万円

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	3,371	△2,070	△1,968	9,774
2025年3月期	3,447	△914	△1,783	10,061

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	36.00	—	31.00	—	1,741	40.3	4.1
2026年3月期	—	21.00	—	39.00	60.00	2,135	43.7	4.7
2027年3月期(予想)	—	33.00	—	28.00	61.00		45.6	

(注) 1 2026年3月期期末配当金には、特別配当 5円00銭が含まれております。

2 2027年3月期中間配当金には、特別配当 6円00銭が含まれております。

3 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。2025年3月期第2四半期末は分割前、期末は分割後の金額を記載しております。年間配当金合計については株式分割の実施により単純合計できないため表示しておりません。なお、株式分割前ベースでの年間配当金は1株当たり98円00銭となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,669	8.2	2,949	4.8	2,861	△3.4	2,552	△1.7	71.73
通期	42,958	7.4	6,003	14.9	5,890	0.5	4,756	△2.7	133.66

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	35,788,178株	2025年3月期	35,788,178株
② 期末自己株式数	2026年3月期	198,857株	2025年3月期	242,920株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	35,576,859株	2025年3月期	35,529,519株

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	25,025	8.9	2,658	31.4	5,796	33.9	5,360	34.2
2025年3月期	22,973	8.0	2,023	20.3	4,328	2.4	3,993	13.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	150.68	150.23
2025年3月期	112.40	112.00

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	46,227	39,163	84.6	1,098.89
2025年3月期	39,750	34,165	85.8	959.44

(参考) 自己資本 2026年3月期 39,108百万円 2025年3月期 34,103百万円

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。業績予想に関連する事項については、添付資料P.4「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等に関する注記) .....	12
(1株当たり情報に関する注記) .....	15
(重要な後発事象に関する注記) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### (全般の状況)

当連結会計年度における世界経済は、総じて緩やかな回復基調を維持したものの、米国の関税政策を巡る不確実性が貿易や設備投資に影響を与えるとともに、年度後半には中東情勢の悪化により地政学リスクが高まり、金融市場やエネルギー価格の変動などを通じて、先行きの不透明感が強まりました。

国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に内需が下支えとなり、回復基調で推移しましたが、物価上昇や世界経済動向の影響が引き続き懸念される状況となりました。

当歯科業界におきましては、CAD/CAMを中心とする歯科医療のデジタル化が世界的に進展し、診療プロセスや製品開発の高度化が進む中、技術革新の加速を背景に企業間競争が激しさを増し、楽観視できない経営環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは第五次中期経営計画の2年目として、成長戦略の着実な推進に取り組んでまいりました。具体的には、歯科医療のデジタル化の進展を見据えた製品ラインアップの拡充を進めるとともに、海外市場においても販売体制の充実や地域特性を踏まえた事業展開を推進しました。さらに、グローバル需要の拡大に対応した供給能力の強化に向け、本社新工場の第一期棟を竣工させるとともに、国内製造子会社では新工場建設に着手するなど、中長期的な成長を支える基盤整備にも注力してまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は39,994百万円と、前年同期比1,296百万円(3.3%)の増収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したことにより5,226百万円と、前年同期比165百万円(3.1%)の減益となりました。

経常利益は、為替差益や貯蔵品売却益の計上などにより営業外収益が増加したことから5,859百万円と、前年同期比336百万円(6.1%)の増益となりました。

特別利益として投資有価証券売却益836百万円や、特別損失として固定資産の減損損失105百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は4,887百万円と、前年同期比570百万円(13.2%)の増益となり、売上高、経常利益、当期純利益が過去最高の業績となりました。

#### (デンタル関連事業)

国内では、歯科切削加工用レジン材料「松風ブロックPEEK」及び「松風ブロックHC スーパーハード」、歯科切削加工用セラミックス「松風ディスクZR ルーセントスーブラ」などのCAD/CAM関連製品が売上に寄与し、前年同期比増収となりました。

海外では、欧州における中東情勢の悪化による影響を受けましたが、北米・中南米及び中国においては歯科用充填修復材料、欧州でもCAD/CAM関連製品の売上高が堅調に推移し、さらに為替変動のプラス影響も加わったことから、前年同期比増収となりました。

これらの結果、デンタル関連事業の売上高は37,669百万円と、前年同期比1,313百万円(3.6%)の増収となりましたが、販売費及び一般管理費が増加したことにより営業利益は5,334百万円と前年同期比104百万円(1.9%)の減益となりました。

#### (ネイル関連事業)

国内では、コモディティ化の進展や他社攻勢の影響を背景に、主力ネイル製品の売上が減少しました。加えて、注力製品であるネイル・ハンドケア製品「ARTiS di Voce」の売上拡大は見られたものの、既存ブランドの売上の減少を補うには至らず、前年同期比で減収となりました。

海外では、販路拡大に取り組んだものの、米国市場における低価格製品の台頭や、主要原材料に関する欧州規制強化の影響を受け、前年同期比で減収となりました。

これらの結果、ネイル関連事業の売上高は2,225百万円と、前年同期比18百万円(0.8%)の減収となり、利益面では営業損失113百万円と前年同期比46百万円の減益となりました。

(その他の事業)

その他の事業におきましては、工業用研磨材市場は、一部業界で設備投資に回復の兆しが見られたものの、その動きは限定的で、市場全体としては低調な状況が続きました。主力マーケットである自動車関連業界では、電動化・知能化への対応が継続する中、生産体制の見直しや開発期間の長期化の影響を受け、金型関連需要も伸び悩みました。

このような状況の中、納期遅延防止と受注対応力の強化に取り組んだ結果、売上高は99百万円と前年同期比1百万(1.7%)の増収となりましたが、原材料価格の高騰により営業利益は0百万円と14百万円(99.6%)の減益となりました。

(注) 各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ7,712百万円増加し、57,706百万円となりました。保有する棚卸資産及び有形固定資産の増加が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,759百万円増加し、9,016百万円となりました。繰延税金負債及び設備関係未払金の増加が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,952百万円増加し、48,689百万円となりました。利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は84.1%（前期末85.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金及び現金同等物は前期末に比べ、286百万円減少し、9,774百万円となりました。当期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,447	3,371	△75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△914	△2,070	△1,156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,783	△1,968	△185
現金及び現金同等物に係る換算差額	287	381	93
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	1,037	△286	△1,324
現金及び現金同等物の期首残高	9,024	10,061	1,037
現金及び現金同等物の期末残高	10,061	9,774	△286

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,371百万円のプラス(前期比75百万円の減少)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益6,590百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,070百万円のマイナス(前期比1,156百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出3,433百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,968百万円のマイナス(前期比185百万円の減少)となりました。これは主に親会社による配当金の支払額1,849百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、世界経済は緩やかな成長が見込まれるものの、米国の通商政策の動向、中国経済の減速懸念に加え、中東情勢の緊迫化など地政学リスクも相まって、不確実性の高い状況が続くものと予想されます。

歯科業界におきましては、口腔の健康状態と全身疾患との関連性が広く認識され、予防医療や健康寿命の延伸における歯科医療の社会的役割が一層高まっております。また、技術革新や人口動態の変化を背景に、世界の歯科市場は大きな転換期を迎えているものと認識しております。

このような状況の中、当社グループは「創造的な企業活動を通じて世界の歯科医療に貢献する」という経営理念のもと、2040年を見据えた次期長期ビジョン「Vision10」を策定いたしました。本ビジョンでは、歯科業界におけるグローバルトップ10入りを目標に掲げ、「世界の歯科ソリューションの未来を切り拓く、デジタル歯科と口腔ケアのリーディングカンパニー」を目指すとともに、2040年における数値目標として、グループ売上高2,500億円、営業利益500億円（営業利益率20%）を長期的な目標としております。

また、第五次中期経営計画の3年目にあたる2026年度は、成長を一段と加速させるため、主要課題の着実な遂行に向けた取組みを進めてまいります。

国内においては、充填修復材、CAD/CAM材料、予防・ケア製品のシェア拡大に取り組み、国内事業の基盤強化を進めるとともに、海外においては主力の化工品類やセメント製品を積極的に市場投入し、各地域における需要の開拓と販売拡大を図ってまいります。また、生産体制の再構築や生産拡大に向けた設備投資を着実に進めるとともに、経営資源の有効活用や事業運営の効率化を通じて資本効率の改善を図り、中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

次期の業績の見通しについては、次のとおりであります。

(単位：百万円・%)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 見通し	増減	増減率
売上高	39,994	42,958	2,964	7.4
営業利益	5,226	6,003	776	14.9
経常利益	5,859	5,890	31	0.5
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,887	4,756	△130	△2.7

主な為替レート 米ドル150.00円、ユーロ170.00円、英ポンド185.00円、中国人民元20.00円

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、長期的な企業価値の増大と、株主のみなさまへの利益還元を目指しつつ安定した配当の維持・継続を基本方針としておりますが、一方で、経営基盤の強化・財務体質の改善を図りながら、海外事業の拡大、新製品開発のための研究開発投資等、将来における積極的な事業展開に備えるため内部留保の充実にも配慮していく考えであります。

利益還元の指標につきましては、連結配当性向40%以上を目標とするほか、純資産配当率(DOE)3.0%以上とすることとして、中間及び期末の年2回の配当を通じて、安定した還元を実施しております。

当期の期末配当金は、普通配当1株当たり34円のほか、投資有価証券の売却による資金を株主還元する特別配当5円を合わせた39円とし、既に実施済みの中間配当金1株当たり21円を合わせた年間配当金は、1株当たり60円となります。

次期の配当金におきましては、中間配当金が投資有価証券売却による特別配当6円を含む1株当たり33円、期末配当金が1株当たり28円、年間配当金は1株当たり61円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS(国際会計基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,653	10,121
受取手形	166	6
売掛金	3,993	4,592
有価証券	239	143
商品及び製品	8,195	10,127
仕掛品	1,980	2,028
原材料及び貯蔵品	1,408	1,610
その他	949	1,271
貸倒引当金	△64	△45
流動資産合計	27,521	29,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,234	14,595
減価償却累計額	△6,974	△7,354
建物及び構築物 (純額)	5,260	7,241
機械装置及び運搬具	5,580	6,403
減価償却累計額	△4,219	△4,494
機械装置及び運搬具 (純額)	1,361	1,908
土地	2,388	2,447
建設仮勘定	422	1,071
その他	5,473	5,693
減価償却累計額	△4,302	△4,570
その他 (純額)	1,171	1,123
有形固定資産合計	10,603	13,792
無形固定資産	556	619
投資その他の資産		
投資有価証券	8,709	10,112
繰延税金資産	159	320
退職給付に係る資産	1,910	2,464
その他	631	610
貸倒引当金	△97	△68
投資その他の資産合計	11,313	13,439
固定資産合計	22,472	27,851
資産合計	49,994	57,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,231	1,297
未払法人税等	906	1,128
契約負債	63	130
役員賞与引当金	66	48
その他	2,950	3,699
流動負債合計	5,218	6,305
固定負債		
繰延税金負債	1,163	1,759
退職給付に係る負債	216	211
その他	659	739
固定負債合計	2,038	2,710
負債合計	7,257	9,016
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,968	5,968
資本剰余金	6,151	6,176
利益剰余金	23,896	26,935
自己株式	△239	△196
株主資本合計	35,777	38,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,040	4,466
為替換算調整勘定	2,893	3,995
退職給付に係る調整累計額	884	1,195
その他の包括利益累計額合計	6,818	9,657
新株予約権	61	54
非支配株主持分	78	93
純資産合計	42,736	48,689
負債純資産合計	49,994	57,706

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	38,698	39,994
売上原価	15,706	16,253
売上総利益	22,991	23,740
販売費及び一般管理費	17,599	18,513
営業利益	5,392	5,226
営業外収益		
受取利息	96	84
受取配当金	187	166
為替差益	-	140
会費収入	145	145
貯蔵品売却益	-	198
その他	247	300
営業外収益合計	677	1,036
営業外費用		
支払利息	17	16
当社主催会費用	295	258
為替差損	110	-
持分法による投資損失	7	3
その他	116	124
営業外費用合計	546	403
経常利益	5,523	5,859
特別利益		
投資有価証券売却益	681	836
特別利益合計	681	836
特別損失		
減損損失	-	105
固定資産除却損	50	-
特別損失合計	50	105
税金等調整前当期純利益	6,154	6,590
法人税、住民税及び事業税	1,764	2,075
法人税等調整額	54	△381
法人税等合計	1,819	1,694
当期純利益	4,335	4,896
非支配株主に帰属する当期純利益	17	9
親会社株主に帰属する当期純利益	4,317	4,887

## 連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	4,335	4,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,053	1,425
為替換算調整勘定	269	1,111
退職給付に係る調整額	△78	311
その他の包括利益合計	△1,863	2,847
包括利益	2,471	7,744
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,457	7,726
非支配株主に係る包括利益	13	17

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,968	6,134	20,964	△297	32,770
当期変動額					
剰余金の配当			△1,385		△1,385
親会社株主に帰属する当期純利益			4,317		4,317
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		17		59	76
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	17	2,932	57	3,007
当期末残高	5,968	6,151	23,896	△239	35,777

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	5,094	2,620	963	8,678	79	82	41,609
当期変動額							
剰余金の配当							△1,385
親会社株主に帰属する当期純利益							4,317
自己株式の取得							△1
自己株式の処分							76
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△2,053	272	△78	△1,859	△17	△3	△1,880
当期変動額合計	△2,053	272	△78	△1,859	△17	△3	1,126
当期末残高	3,040	2,893	884	6,818	61	78	42,736

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,968	6,151	23,896	△239	35,777
当期変動額					
剰余金の配当			△1,849		△1,849
親会社株主に帰属する当期純利益			4,887		4,887
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		24		43	68
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	24	3,038	43	3,106
当期末残高	5,968	6,176	26,935	△196	38,884

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計			
当期首残高	3,040	2,893	884	6,818	61	78	42,736
当期変動額							
剰余金の配当							△1,849
親会社株主に帰属する当期純利益							4,887
自己株式の取得							△0
自己株式の処分							68
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,425	1,102	311	2,838	△7	14	2,846
当期変動額合計	1,425	1,102	311	2,838	△7	14	5,952
当期末残高	4,466	3,995	1,195	9,657	54	93	48,689

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	6,154	6,590
減価償却費	1,059	1,210
減損損失	-	105
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	140	△51
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△168	△129
受取利息及び受取配当金	△284	△251
支払利息	17	16
為替差損益 (△は益)	△118	△189
投資有価証券売却損益 (△は益)	△681	△836
持分法による投資損益 (△は益)	7	3
売上債権の増減額 (△は増加)	369	△250
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,203	△1,545
仕入債務の増減額 (△は減少)	△147	△172
その他	△352	80
小計	4,792	4,580
利息及び配当金の受取額	368	636
利息の支払額	△16	△16
法人税等の支払額	△1,739	△1,850
和解金の受取額	42	21
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,447	3,371
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△791	△1,007
定期預金の払戻による収入	891	1,257
有価証券の取得による支出	△243	△332
有価証券の売却による収入	-	437
有形固定資産の取得による支出	△1,229	△3,433
有形固定資産の売却による収入	20	17
無形固定資産の取得による支出	△88	△169
投資有価証券の取得による支出	△320	-
投資有価証券の売却による収入	869	1,124
貸付けによる支出	△1	△7
貸付金の回収による収入	7	6
その他	△30	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△914	△2,070
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△98	△115
長期借入金の返済による支出	△281	-
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△1,385	△1,849
非支配株主への配当金の支払額	△17	△3
ストックオプションの行使による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,783	△1,968
現金及び現金同等物に係る換算差額	287	381
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,037	△286
現金及び現金同等物の期首残高	9,024	10,061
現金及び現金同等物の期末残高	10,061	9,774

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等に関する注記)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、デンタル関連事業、ネイル関連事業及びその他の事業（工業用材料・機器の製造販売）から構成されており、各事業単位で、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、「デンタル関連事業」、「ネイル関連事業」、「その他の事業」を報告セグメントとしております。「デンタル関連事業」は、歯科に関連する材料、機器の製造・販売及び修理サービスを、「ネイル関連事業」は、ネイルに関連する美容器具・健康器具及び化粧品の製造・販売、サービス業を、「その他の事業」は、工業用材料・機器の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他 の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,356	2,243	97	38,698	—	38,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	4	4	△4	—
計	36,356	2,243	102	38,702	△4	38,698
セグメント利益又は損失(△)	5,438	△66	14	5,386	5	5,392
セグメント資産	41,765	1,699	121	43,587	6,407	49,994
その他の項目						
減価償却費	1,012	41	5	1,059	—	1,059
持分法投資利益 又は損失(△)	△7	—	—	△7	—	△7
減損損失	—	—	—	—	—	—
持分法適用会社への投資額	2,541	—	—	2,541	—	2,541
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,415	30	—	1,445	—	1,445

(注) 1 (1) セグメント利益の調整額4百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額6,407百万円には、各セグメントに配分していない全社資産が含まれており、その主なものは当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資産(投資有価証券等)等の資産であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他 の事業	
日本	15,366	1,316	97	16,780
北米・中南米	4,699	188	—	4,888
欧州	8,310	—	—	8,310
アジア	7,980	738	—	8,718
顧客との契約から生じる収益	36,356	2,243	97	38,698
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	36,356	2,243	97	38,698

(注) 外部顧客への売上高は、当社及び連結子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他 の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,669	2,225	99	39,994	—	39,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	4	4	△4	—
計	37,669	2,225	103	39,998	△4	39,994
セグメント利益又は損失(△)	5,334	△113	0	5,221	5	5,226
セグメント資産	49,036	451	123	49,612	8,094	57,706
その他の項目						
減価償却費	1,164	38	8	1,210	—	1,210
持分法投資利益 又は損失(△)	△3	—	—	△3	—	△3
減損損失(注) 3	—	105	—	105	—	105
持分法適用会社への投資額	2,153	—	—	2,153	—	2,153
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	4,380	25	7	4,413	—	4,413

(注) 1 (1) セグメント利益の調整額5百万円はセグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額8,094百万円には、各セグメントに配分していない全社資産が含まれており、その主なものは当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資産(投資有価証券等)等の資産であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当社グループの株式会社ネイルラボにおいて、営業から生ずる損益が継続してマイナスとなっているため、当該資産グループの帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に105百万円計上しております。

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他 の事業	
日本	15,702	1,308	99	17,110
北米・中南米	4,957	146	—	5,103
欧州	8,658	—	—	8,658
アジア	8,351	770	—	9,121
顧客との契約から生じる収益	37,669	2,225	99	39,994
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	37,669	2,225	99	39,994

(注) 外部顧客への売上高は、当社及び連結子会社の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(1株当たり情報に関する注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,198.37円	1,363.94円
1株当たり当期純利益金額	121.52円	137.38円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	121.09円	136.97円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,317	4,887
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,317	4,887
普通株式の期中平均株式数(千株)	35,529	35,576
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	127	108
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

2. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	42,736	48,689
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	140	147
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	42,596	48,541
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(千株)	35,545	35,589

4. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。